

令和3年度 寒川町教育委員会 教育政策課社会教育担当 主要事業計画

予算費目	事業名	内容・目的	実施時期	回数	事業費(千円)		
					R3年度 予算額	R2年度 予算額	増減
社会教育委員活動事業費	社会教育委員会会議	社会教育の全般に関する総合企画及び諮問機関として、相互研鑽を深めながら社会教育事業の総合的調整をする。 寒川町では社会教育委員会が公民館運営審議会と図書館協議会を兼ねていることから、会議内に公民館部会、図書館部会を設置 委員：10人(うち公募委員1人) 任期：2年間	通年	全体会 2回 (4月・3月) 部会 各3回 (6月・8月・12月)	343	321	22
社会教育総務事務経費	社会教育要覧の発刊	町の社会教育事業の記録保存のため、要覧「さむかわの社会教育」を作成する。	9月	1回	23	23	0
	後援名義使用等許可申請	教育文化事業を行う各種団体が共催、後援を許可するに当たり、申請書の受理、審査、通知を行う。	通年	申請数による			
	寄贈資料の活用	寒川町ゆかりの文化人である書家井上有一について、町に寄贈された書作品、書籍を常設展示する。	通年	展示替え 年2回			
社会教育関係団体活動支援事業費	社会教育関係団体助成	寒川町社会教育関係団体補助金等交付要綱に基づき、社会教育関係団体に補助金を交付し、活動支援をする。 寒川町婦人会 140千円 寒川町PTA連絡協議会 160千円	通年	2団体	300	300	0
社会教育振興事業費	体験型英語教育のためのバスツアー	グローバル教育推進事業に付随した新規事業。子どもが学校以外の場で英語を使う体験機会を設け、英語の使い方を学習するとともに、興味・関心を高めることを目的に、先進的に体験型英語教育を行っている民間施設へのバスツアーを実施する。	9月	1回	642	-	新規事業
町立公民館運営経費	町立公民館指定管理	生涯学習の拠点となる公民館に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウ・技術・情報を取り入れることで、施設の利用促進、町民に望まれるサービスの提供、新たな講座の開催を図る。 ・教育政策課と指定管理者と月例会議実施 ・外部モニタリングを年2回実施 ・令和4～8年度分指定管理者募集・選定	通年	-	138,050	138,096	△ 46
総合図書館運営経費	総合図書館指定管理	総合図書館に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウ・技術・情報を取り入れることで、施設の利用促進、町民に望まれるサービスの提供、新たな事業の展開を図る。 ・教育政策課と指定管理者と月例会議実施 ・外部モニタリングを年2回実施 ・令和4～8年度分指定管理者募集・選定	通年	-	134,300	134,300	0

予算費目	事業名	内容・目的	実施時期	回数	事業費（千円）		
					R3年度 予算額	R2年度 予算額	増減
文化財保護 事業費	文化財保護委員会	文化財保護を中心に文化財の指定や解除及び活用について調査研究を行う。	通年	2回	2,901	2,841	60
	郷土文化啓発事業	郷土の歴史文化財学習として、郷土研究会を講師とし、「昔の遊び教室」「お飾り講習会」を実施する。（公民館連携事業）	7月 ・ 12月	2回			
	文化財草刈り清掃	塔の塚及び十三塚の史跡を維持管理するため、定期的に草刈り清掃を行う。	通年	1回			
	文化財関係団体補助事業	祭ばやし保存会連合会に補助金を交付し、活動支援をする。	通年	1団体			
	埋蔵文化財発掘調査	開発に伴う埋蔵文化財の試掘及び発掘調査を行う。大（応）神塚の保存目的のための学術調査を行う。	通年	申請数による			
		埋蔵文化財報告書の作成（隔年）	3月	1回			
開発指導	開発行為から文化財を保護するため、適切な指導を行っていく。	通年	申請数による				
文化財学習 センター 事業費	常設展示	埋蔵文化財、民俗文化財に関して、常設展示を行い文化財の普及・啓発を行う。	通年	予約制	428	447	△ 19
	出張展示	多くの方に文化財学習センターの収蔵品を見ていただくため、土日対応、町中央部の施設で出張展示を行う。	通年	年2回			
	文化財保存・整理作業	埋蔵文化財、民具農具などの民俗文化財を後世に残していくため保存・整理をしていく。	通年	常時			
	さむかわ考古学講座	茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業。茅ヶ崎寒川にゆかりの深い国指定史跡下寺尾官衙遺跡群について講座を行う。	5月	2回			
	布ぞうり作り教室	伝統文化を体験するため、布を使ってわらぞうりを昔ながらの方法で作る。	6月	1回			
	遺跡講演会	埋蔵文化財の普及啓発のため、町内の遺跡関連の講演を実施する。	11月	1回			